

令和 2 年 12 月三田市議会定例会(第 359 回)一般質問発言通告一覧

(第 2 日・12 月 11 日 個人質問)

6 番 中田 哲 <一問一答>

- 1 農業の担い手不足解消へ向けた取り組みについて
 - (1) 新規就農者受け入れの現状と課題について伺う。
 - (2) 農を楽しむ市民と農村地域の交流促進について伺う。
 - (3) 農村サポーター制度創設の検討について伺う。
- 2 新型コロナウイルス感染症に係る現状と課題について
 - (1) 市内の発熱等診療・検査医療機関の現状と課題について伺う。
 - (2) 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種に関連する情報の市民への周知と実施体制の構築を速やかに行えるよう、現時点でできる限りの情報収集に努め、課題を整理しておくべきと考えるが、当局の考えを伺う。
 - (3) 兵庫県の病床使用状況について伺う。
- 3 こども医療費助成制度について
 - (1) 慢性疾患や障害、あるいは、多子世帯であることに起因して、継続的に複数診療機関への通院を余儀なくされるケースがある。世帯当たりのこどもに係る医療費負担が、著しく大きくなる家庭の負担を一定程度軽減できる仕組みを検討できないか。

2 番 水元 サユミ <一問一答>

- 1 交通不便地域解消に向けての市の取り組みについて
 - (1) 広野地区における試験運行が予定されていますが、試験運行後、地域で担い手が確保できなくなった場合、市としてどのように支援していくのかを問います。
 - (2) 「三田市地域公共交通網形成計画」では、地域交通の担い手として、地域住民が主体となることを想定していますが、万が一事故やトラブルになった場合、市としてどのように対応するのか見解を問います。
 - (3) 国が進めようとしている市町村運営有償運送に対して、2種免許を持たないことについての安全性をどのように考えているのか市の見解を問います。
 - (4) 今後、地域交通を他地域にどのように広げていくのか市としての見解を問います。
- 2 コロナ禍における介護施設と補償について
 - (1) コロナ禍にある介護現場の現状をどのように調査し把握していますか。
 - (2) コロナ禍にある介護施設では感染症対策に自助努力をしているが限界があります。不足している物資について、市はどのように支援していくのかを問います。
 - (3) 高齢者は新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化のリスクが高いといわれています。

介護保険サービスの利用者の中には複数施設を利用している方がいることから、関連するすべての介護事業所に PCR 検査をすべきだと考えますが、市の見解を求めます。
 - (4) デイサービスでは、休業要請されると利用料が入らなくなります。市として独自

の支援が必要と考えるが市の見解を問います。

13番 長尾 明憲 <一問一答>

1 三田市民病院に関する諸問題について

- (1) 三田市民病院改革プランは平成32年度までの計画となっている。コロナ禍で国の公立病院改革ガイドラインの改訂が延期されている中で改革プランはどうなるのか。
- (2) 改革プランの元となる県の地域医療構想そのもの見直しを県に求めるべきと考えるが市の見解を伺う。
- (3) 北神・三田急性期医療連携会議と国の財政措置について。
- (4) 市の進めようとしている病院統廃合について、市長による市民への説明と市民の意見を聞く「場」を多数設けるべきと考えるがどうか。

2 新型コロナウイルス感染症対応について

- (1) 県に対して体制強化を求め、あわせて市での相談窓口を設置することについて。
- (2) 市民への情報提供の在り方と課題について。
- (3) 不安を感じる市民が受けることのできるPCR検査を市独自で行うことについて。
- (4) 継続した市内経済への支援について。
- (5) 感染疑いで陰性となった市民への経済的支援について。
- (6) 感染者、および接触者等関係者への精神的ケアについて。

5番 井上 昭吾 <一問一答>

1 三田市立の中高一貫校の設置について

- (1) STEAM教育に重点を置いた三田市立高校の設置により一貫したSTEAM人材育成が可能となり地元理系大学等への連携も進展します。空き教室等を有効利用した独自のカリキュラムを持つ中高一貫の三田市立学校の設置について考えをお聞きします。

2 郷土教育について

- (1) 地域社会の一員に育てる教育は計画的にするべきであり、義務教育期間において継続的な仕掛けが必要だと考えます。現在小学3・4年生だけで実施されている郷土教育を年次毎の教育課程に再編し、課題解決型学習を取り入れた継続的な郷土教育実施への考えをお聞きします。

3 小学校でのプログラミングと外国語教育必修化の現状について

- (1) 今年度からの必修化で小学校の先生方には大きな負担になっているのではないかと危惧します。三田市では現場の教員が困らないようにどのようなサポート体制を整備し、どのような教育を行っているのかお聞きします。

4 「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」参加について

- (1) 日本初の産官学連携の学校システム改革チームによる「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」が始動しました。「学びの都三田」としての知見を高めるためにも、未来の学校モデルの開発に挑戦し、既存の学校像を抜本的に変革し、「新しい学校」を構築するというこのプロジェクトへの参加について考えをお聞きします。

12番 大西 雅子 <一問一答>

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に向けた取り組みについて
 - (1) 速やかなワクチン接種ができる体制づくりを、市はどのように進めていくのか見解を伺う。
- 2 新型コロナウイルス感染症が拡大する中での取り組みについて
 - (1) フレイル予防対策について。
 - (2) デジタルサイネージ等を活用した感染予防啓発について。
- 3 生活困窮者自立支援事業について
 - (1) 今年度予算化された、子どもの学習・生活支援事業と就労準備支援事業の現在の進捗状況を伺う。
 - (2) 市が目指す、生活困窮者自立支援事業を伺う。
- 4 3歳児健康診査での視力検査について
 - (1) 屈折検査機器を導入しての視力検査について。

20番 松岡 信生 <一問一答>

- 1 新型コロナウイルス感染症の対策について
 - (1) 「15ヶ月予算」編成に向けた本市の取り組みの考えについて。
 - (2) これ迄の支援と今後の支援の方向性について。
- 2 子どもの貧困対策について
 - (1) 実態調査及び把握について。
 - (2) 国の対策大綱に基づく重点施策の取り組みについて。
 - (3) ひとり親家庭への経済的支援の継続について。
- 3 今後の文化振興のあり方について
 - (1) 伝統文化等を含む情報提供のあり方について。
 - (2) 指定管理との検証及び職員育成と人材確保等について。
 - (3) 文化ビジョンの条例制定について。
- 4 適切な課税のあり方について
 - (1) 中古車販売会社所有の軽四輪自動車の課税状況について。
 - (2) 商品であって使用しない中古軽自動車の課税免除に向けた検討について。